

# 抗マラリア薬の説明書

## 商品名:メファキン/マラロン

### ■マラリアについて

マラリアは最も人命を奪っている感染症です。死亡者は年間50万人と推定されます。熱帯熱、卵形、三日熱、四日熱、knowlesiの5種類があります。熱帯熱マラリアは重症化する危険性があります。

### ■感染経路

- ・蚊(ハマダラカ)に刺されて感染します。ハマダラカは夜行性で、雨期に多く発生します。
- ・厚労省FORTHや米国CDC、英国Fit for Travelで情報を入手できます。

### ■流行地域

- ・高度流行地域はアフリカのサハラ以南、パプアニューギニア、南米のアマゾンです。

### ■診断と治療

- ・血液をギムザ染色し、マラリア原虫の有無で診断します。
- ・マラリアを否定するには3日連続のギムザ染色が必要です。
- ・熱帯熱マラリアは重症化する危険性があるため、マラリアを疑えば熱帯病の診断・治療ができる医療機関(近隣では広島大学病院)へ紹介します。

### ■予防方法

- ・防虫対策。長袖長ズボンの着用、夜間外出を控える、DEET塗布、蚊取スプレー、殺虫剤を染み込ませた蚊帳(LLINs)の利用。
- ・抗マラリア薬の内服。
- ・ワクチンはありません。

### ■抗マラリア薬の対象者

- ・サハラ砂漠以南のアフリカ、インド亜大陸の都市部や農村部、東南アジアや中南米の農村部に滞在する方。

### ■抗マラリア薬について

- ・2種類の抗マラリア薬を扱っています。
- ・渡航期間(予算)、耐性株流行地、合併症の有無で使い分けます。
- ・抗マラリア薬を内服していても感染することがあります。

	メファキン(275mg/錠)	マラロン(A250mg/P100mg)
【製造会社】	久光製薬	GSK(GlaxoSmithkline)
【適応年齢】	成人	成人ないし40kg以上の小児
【内服回数】	1週間に1回1錠。	1日1回1錠。
【内服方法】	夕食後に内服。	食後に内服。
【スケジュール】	渡航1週前～帰国後4週後	渡航1日前～帰国後7日後
【処方錠数】	滞在週数+5週分	滞在日数+8日分
【1錠価格】	1000円	600円
【副作用】	めまい、ふらつき	下痢、腹痛
【内服できない方】	妊婦、小児、肝疾患、腎疾患、心疾患、精神疾患、てんかんの方。	妊婦、40kg未満の小児。

### ■注意事項

- ・メファキンは30kg以上45kg未満で3/4錠内服。45kg以上で1錠内服。
- ・マラロンはワーファリン内服中でINR上昇に注意が必要。

### ■健康被害が生じた場合

PMDAによる公的救済制度の適応です。発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。